

第636回番組審議会報告

2019年3月5日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員（書面） 砂間裕之委員
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役
小林ラジオ局長 松本編成局長
高山コンプライアンス室長 菅野番組審議会事務局長

◆審議事項

平成30年度最終の審議会となるため、個別の番組の審議ではなく、「MBSの番組・放送全般」について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- *MBSはヒューマンドキュメンタリーがうまい。「映像'18 生きなおし～元ヤクザが取り組む施設の日々～」はきれいごとだけではなく、リアル感がすごくあるいい番組だった。
- *「住人十色」を最近見るようになった。リノベーションしてどんどん家がかわっていくというユニークな人の回など、家を通してその人の生きざまが垣間見られて面白い。
- *以前のMBSには視聴者の人柄や人生をうまく引き出す番組が多かったが、最近のMBSはそういう部分が足りないように思う。例えば「ごぶごぶ」でMCが一般人とからんでいてもタレントの内輪だけで盛り上がっていてもったいない。
- *昭和34年から続いている長寿番組の「皇室アルバム」は、アナウンサーのナレーションもいいし、音楽もいいし、とても好きな番組だ。

- * 「林先生が驚く初耳学！」でアンミカさんが女性モデルを育てるという企画「アンミカ先生が教えるパリコレ学」はいい。モデルらの成長の様子が見られ、それを応援することでこちらも参加しているような気分になった。ただシリーズ企画のため、毎回、前のシーンを何回も流すが、それが少しくどい。
- * 「教えてもらおう前と後」は「唐揚げのおいしい揚げ方」など他局が何回もやっているようなテーマを取り上げているが、メインMCの滝川クリステルさんとレギュラーの博多華丸・大吉さんらとの絶妙なやり取りで他局にはないテイストを出しているように思う。
- * 「メッセンジャーの〇〇は大丈夫なのか？」は、「1本5万円の高級鉛筆を使っている人」をはじめ、VTR取材の対象者の選び方がすごくいい。
- * 「所さんお届けモノです！」でチャンカワイさんが中山道を歩いて100年以上続く老舗の新名物を探すシリーズは、ロケの喜びみたいなものが伝わってくる、いい企画だ。
- * ラジオは中高年向けのメディアだと思っていたが、金曜の「アキナの週刊ヤングフライデー」や、土曜の「ちょこっとやってまーす！」は中高生向けの編成になっていて、受験生やティーンエイジャーからの投稿や電話メッセージが多いことに驚いた。
- * インタビュー番組の「サワコの朝」は司会の阿川佐和子さんの語り口もよく土曜の朝にぴったりだが、当たり外れがある。ゲスト次第のところを、何か趣向が一つあればなと思う。
- * 「サタデープラス」は「土曜の朝8時、どれ？」となった時に、裏番組に旅行番組やニュース番組があるいっぽうで、4チャンネルはごちゃ混ぜ感が強く、ついて行きにくい。例えば「食べもの」に特化して、ランキングや流行りものニュースなどもグルメに寄せるだけで、「4チャンネルの土曜8時はおいしいもの」という色が出て、選びやすくなると思う。
- * 好調の「水野真紀の魔法のレストラン」だが、先日はカニがテーマ。カニだけで1時間もつのかと思った通り、見るのが少しつらかった。メインの

テーマは厳選すべきだし、弱いテーマの時にはそのテーマを引き延ばすようなことはせず、もう一つ何かコーナーがあってもいいと思う。

- * 「VOICE」で、女性キャスターは補助的な役割をしているが、男性キャスターと同等の仕事させるべきではないだろうか。
- * 「プレバト!!」の夏井いつき先生の俳句のコーナーで、最近、「発想を飛ばす」という言い方で「お題」の枠組みを明らかに超えているものを認めるようになっているが、「お題」の枠の中でみんなが一生懸命考えることが俳句の基本だと思う。
- * 毎回パーソナリティが異なる「あどりぶラヂオ」に藤林温子アナウンサーが出演した際、ドラマのサウンドトラックの紹介で3時間をやりきった。実によく知っていて「そんな面あるの」と驚いた。アナウンサーの個人的な趣味を垣間見られる回がもっと増えればいいなと思う。

以上